

記入例

摂南大学 利益相反に関する自己申告書

記入日：2021 年 月 日

摂南大学利益相反マネジメント委員長 殿

所属	学部	学科
職階		
氏名		

印

申告対象期間【2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日】における利益相反に関する事実関係について、下記のとおり申告いたします。

※申告にあたっての留意事項

■大学に所属し教育・研究等の活動に携わる者が、大学を離れた場での諸活動を行うことはルールの範囲で認められており、また個人として取り結ぶ人間関係は基本的に大学に関わるものではありません。しかし、それらの異なる立場を一人の人間が担ったとき、たとえば、申告者の行っている研究が、申告者の配偶者が代表する企業の利害と無縁でない場合など、利益や責務の衝突が発生すること考えられます。このような利益が相反する状況が生じたとき、それを誠実に外部に伝え、申告者の研究に対する正当な判断を求めることが必要となります。

よって、社会一般から利益相反に係る疑惑が向けられた場合、申告者本人の適切な申告が申告者自身を守ることに繋がります。

■設問 1 から 5 の全ての設問にお答えください。

■設問 2 から 5 に関しては、申告者本人、生計を一にする配偶者及び一親等の者（両親及び子ども）についても、お答えください。

■設問 4、5 は対象者ごとに設問内容が変わりますので、別添の『対象者別回答項目について』をご参照いただきながら、お答えください。

■個人情報の保護は学園規定及びガイドラインに従い、適切に取り扱います。

■利益相反マネジメントに関する不明な点は、別添の『摂南大学利益相反マネジメントに関する Q&A』をご参照ください。

記

設問 1 申告対象期間において、社会貢献活動を行いましたか。

☒ はい ☐ いいえ

社会貢献活動とは、

国、地方公共団体、独立行政法人、会社その他の営利企業又はその他の団体における兼職活動（学園規定『兼職に関する取扱要項』を参照）、共同研究、委託研究（依頼試験・分析を含む）、学術指導（技術指導も含む）、自らが関わる知的財産権の権利譲渡・実施許諾等、企業等からの研究員、ポスドクの受け入れ及び研究助成金（科研費等を含む）、奨学寄附金の受け入れ等をいう。

設問 2 「申告者本人の教育・研究等の活動」又は「申告者本人の社会貢献活動」に関連する同一企業・団体等から年間 100 万円以上の個人収入等を得ていますか。対象者別にお答えください。いずれの対象者にも該当しない場合は「いいえ」に☒し、設問 3 へお進みください（なお、申告者本人以外は給与収入を含みます）。

☒ はい → 対象者別に以下の項目を記入してください。 ☐ いいえ → 設問 3 へお進みください。

●対象者 ☐ 申告者本人 ☒ 生計を一にする配偶者 ☐ 一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	株式会社〇〇〇科学	金額（年間）	6, 0 0 0 千円
活動内容	〇〇〇薬品の営業		
収入の種類	☐ 個人保有の特許権等によるロイヤリティ ☐ 贈与・寄附 ☐ 借入金 ☒ 給与収入 ☐ 講演・講師・委員等謝礼 ☐ その他（ ）		

●対象者 ☒ 申告者本人 ☐ 生計を一にする配偶者 ☐ 一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	株式会社〇〇〇研究所	金額（年間）	1, 0 0 0 千円
活動内容	倫理に関する社員研修の講師謝礼 1 0 回分		
収入の種類	☐ 個人保有の特許権等によるロイヤリティ ☐ 贈与・寄附 ☐ 借入金 ☐ 給与収入 ☒ 講演・講師・委員等謝礼 ☐ その他（ ）		

設問3 「申告者本人の教育・研究等の活動」又は「申告者本人の社会貢献活動」に関連する企業・団体等の株式を保有していますか。対象者別にお答えください。いずれの対象者にも該当しない場合は「いいえ」に☒し、設問4へお進みください。

☒はい → 対象者別に以下の項目を記入してください。 ☐いいえ → 設問4へお進みください。

●対象者 ☒申告者本人 ☐生計を一にする配偶者 ☐一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	株式会社〇〇〇			
保有株数	1, 0 0 0	保有率	約 1 0 %	時価・予約額 1 0, 0 0 0 千円
種類	☐ 未公開株式 ☐ 公開株式 ☒ ストックオプション ☐ 受益権 ☐ その他（ ）			
その他				

●対象者 ☐申告者本人 ☐生計を一にする配偶者 ☒一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	株式会社〇〇〇			
保有株数	1, 0 0 0	保有率	0.02%	時価・予約額 1 0, 0 0 0 千円
種類	☐ 未公開株式 ☒ 公開株式 ☐ ストックオプション ☐ 受益権 ☐ その他（ ）			
その他				

設問4 次の①又は②のいずれかに該当していますか。いずれにも該当しない場合は「いいえ」に☒し、設問5へお進みください。

- ①申告者本人が、「自身の社会貢献活動」のうち、同一企業・団体等から年間受入額 200 万円以上の研究等（科学研究費を含む）を行っている。
②生計を一にする配偶者及び一親等の者（両親及び子ども）が、「申告者本人の教育・研究等の活動」又は「申告者本人の社会貢献活動」に関連する同一企業・団体等から年間受入額 200 万円以上の研究等（科研費を含む）を行っている。

☒はい → 対象者別に以下の項目を記入してください。 ☐いいえ → 設問5へお進みください。

●対象者 ☐申告者本人 ☐生計を一にする配偶者 ☒一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	〇〇〇研究所	総受入金額（年間）	3, 0 0 0 千円
活動内容	〇〇〇薬品に関する研究		
収入の種類	☐ 共同研究 ☒ 委託研究 ☐ 学術指導 ☐ 実施許諾 ☐ 権利譲渡 ☐ 研究員の受入 ☐ ポストドクトラルフェローの受入、 ☐ 依頼試験・分析 ☐ 機器の受入 ☐ 奨学寄附金の受入 ☐ 研究助成金（科学研究費を含む） ☐ その他（ ）		

●対象者 ☒申告者本人 ☐生計を一にする配偶者 ☐一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	日本学術振興会	総受入金額（年間）	2, 5 0 0 千円
活動内容	科研費 基盤研究 B		
収入の種類	☐ 共同研究 ☐ 委託研究 ☐ 学術指導 ☐ 実施許諾 ☐ 権利譲渡 ☐ 研究員の受入 ☐ ポストドクトラルフェローの受入、 ☐ 依頼試験・分析 ☐ 機器の受入 ☐ 奨学寄附金の受入 ☒ 研究助成金（科学研究費を含む） ☐ その他（ ）		

設問5 次の①又は②のいずれかに該当していますか。いずれにも該当しない場合は「いいえ」に☒して、本申告書を提出してください。

- ①申告者本人が、「自身の社会貢献活動」のうち、企業・団体等の役員・委員等に就任している。※学会は対象外です。
②生計を一にする配偶者及び一親等の者（両親及び子ども）が、「申告者本人の教育・研究等の活動」又は「申告者本人の社会貢献活動」に関連する企業・団体等の役員・委員等に就任している。

☒はい → 対象者別に以下の項目を記入してください。 ☐いいえ → 設問は以上です。

●対象者 ☒申告者本人 ☐生計を一にする配偶者 ☐一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	〇〇〇大学	役職名	非常勤講師
報酬（年間）	2 0 0 千円	出資金	0 千円
活動内容	〇〇〇の講義		
役割の種類	☐ 役員、顧問等就任 ☒ その他の兼職 ☐ 出資 ☐ その他の経営関与		

●対象者 ☒申告者本人 ☐生計を一にする配偶者 ☐一親等の者（両親及び子ども）

企業・団体名	〇〇〇市 〇〇〇審議会	役職名	委員長
報酬（年間）	3 0 0 千円	出資金	0 千円
活動内容	〇〇〇についての審議等		
役割の種類	☐ 役員、顧問等就任 ☒ その他の兼職 ☐ 出資 ☐ その他の経営関与		

以上